道徳教育の全体計画案

(R2年度)

山田中学校

教育基本法 学校教育法

学習指導要領

区市町村教育委員会の教育目標

学校の教育目標

未来をきりひらく、たくましい人間の育成

1．真理を探求する人間。2．情操ゆたかな人間。
3．心身共に健康な人間　4．好況に尽くす人間

学校や地域の実態と課題

・学校は家庭，地域と連携し，積極的に自己点検・評価を推進し，定期的に道徳授業等を公開する。

生徒の実態や発達課題

(良いところ)
・挨拶や時間を大切にすること。
(努力するところ)
・互いに励まし，共に伸びようとする力

教職員や保護者の願い

・学習に喜びを感じ，積極的に生きて欲しい。
・自他を大切にし，仲間と共に伸びて欲しい。
・一日一日を大切に生きて欲しい。
・礼儀を大切にして欲しい。

学校における道徳教育の重点目標

1 基本的生活習慣の確立をめざす。

2 温かい人間愛の精神のもとに、他の人々に対する思いやりと感謝の心を育てる。

3 社会に対する奉仕の気持ちをもち、進んで公共の福祉に尽くそうとする心を育てる。

各　教　科

国　語	・思考力や想像力を養い，言語感覚を豊かにする。
社　会	・我が国と郷土を愛するとともに，国際社会に生きる日本人としての自覚を養う。
数　学	・筋道を立てて考え，表現する能力を高める。
理　科	・生命を尊重し，自然環境の保全に寄与する態度を養う。
音　楽	・美しいものや崇高なものを尊重する豊かな情操を養う。
美　術	・美しいものに対する感性を豊かにする。
保健体育	・粘り強くやり遂げようとする態度やルールを守り，協力する態度を養う。
技術家庭	・望ましい生活習慣を身に付けるとともに，勤労の尊さや意義を理解する。
外国語	・外国の文化を理解し，国際的視野に立って行動する態度を身に付ける。

道徳教育の推進体制

・校長の方針の下，道徳教育推進教師を中心として，校内研修体制を充実させ，全体計画の評価・改善にかかわる全教員の共通理解を図る。

特別活動

A　学級活動

・学級の一員としての自覚を持って行動しようとする態度を育てる。（4月・9月学級組織の話し合い）

・主体的に自分の進路を選択する能力を養う。（進路の学習）

B　生徒会活動

・学校の一員としての自覚を持ち，自己の役割や責任を果たそうとする態度を育てる。（11月　生徒総会・生徒会役員選挙）

C　学校行事

・各行事（5月修学旅行、6月体育祭、10月2年校外学習、文化祭、2月1年遠足、3月送る会）へ積極的に参加する意欲を養う。

各学年の道徳教育の重点目標

第１学年	第２学年	第３学年
・自立と自律…仲良しのグループの「群れ」ではなく、「集団」をつくる。 ・豊かな心…思いやりの心を育て、自己肯定感を持たせる。 ・確かな学力…希望する進学先に進学できる力をつける	・中堅学年としての自覚を持ち、主体的に考え、判断し行動できる集団を育てる。 ・お互いを認め合い、大切にし、協調性のある集団を育てる。 ・礼儀正しく、節度ある集団を育てる。 ・授業を大切にし、教え合える集団を育てる。	・最上級生としての自覚を持ち、礼儀正しく、節度ある行動が取れる集団を育てる。 ・生徒一人ひとりが、お互いを認め合える集団を育てる。 ・仲間を大切にし、支え合い、ともに頑張れる集団を育てる。 ・授業を大切にし、仲間と学び合える集団を育てる。

総合的な学習の時間

第１学年	＜学び方を学ぶ＞ ・情報を収集し，自己の学習の課題を見つける方法を学ぶ。
第２学年	＜協力し課題解決する＞ ・課題を見つけ，グループで課題解決に取り組む。
第３学年	＜自らの課題解決を目指す＞ ・自ら課題を設定し，体験し，様々な方法で探究し，課題解決に取り組む。

道徳科の指導方針

・互いの考えを尊重し，伝え合い，人間としての生き方について，共に深く考え合う。
・日常生活における道徳教育と内容，時期を関連付け，道徳性を育てる。
・年間指導計画に基づき，生徒の心身の発達や個に応じた適切な指導を行う。
・生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を見取り，積極的に励ます個人内評価を行う。
・保護者や地域に授業を公開し，意見を交流するなどして，地域と共に子どもを育てる。

・教材の整備や指導の方法の工夫に努め，より意義のある時間にする。

生徒指導

・人権尊重の精神のもと，自他の生命を大切にし，節度ある生活態度を育てる。
・社会性を育て，規範意識をもった生徒を育てる。
・「いじめ」のない学校を目指す。

・スクールカウンセラーと連携し，教育相談活動を充実させる。

部活動

特色ある教育活動や豊かな体験活動

・生徒集会で生徒の発表や報告を持ち，一人ひとりの学習や体験の成果を発表する活動を進める。
・緑と花にあふれ，潤いのある学校づくりを進める。
・読書の時間をもうけ，読書教育を推し進める。
・校内ＬＡＮの活用と充実を図り，タブレット端末を活用し「主体的な学びの創造」を目指す。
・ボランティア活動を推進する。

（１１月３年保育体験）（１０月２年職場体験）

学級・学校の環境の充実・整備

・教室内外の環境美化に努める。
（清掃活動の充実，掲示物の工夫・整備）
・施設・設備の安全と維持に努める。
（ものを大切に使う指導，安全点検と迅速な修理，植物の栽培と管理）
・図書館を充実し，読書活動や調べ学習を推進し，道徳教育に資する。

・よき校風を伝え，言語環境を整え，山田中学校ならではの良さを表現する。

地域・小学校・高校との連携

・ＰＴＡ，地域と協力し，生徒の健全育成に努める。
・地域自治会や地域にある福祉施設と交流し，社会性の育成を図る。
・小学校ＰＴＡと協力し，ふれあいタウンの行事を進める。
・小学校との学習やクラブ活動の交流を深め，小中連携を進める。
・高等学校とのボランティア交流を進める。